

令和3年度 北秋田市総合戦略検証会議検証シート  
(地方創生関係交付金事業)

1. 地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業
2. 北秋田市クウィンス森吉宿泊施設整備事業
3. 北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業
4. 移住定住ネットワークセンター整備事業
5. 「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業
6. 森吉山ウェルカムステーション整備事業

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
<b>交付金 種別</b>	地方創生推進交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	平成29年11月に日本版DMO法人として登録された『一般社団法人秋田犬ツーリズム』を中心とし、市町村の枠を超えた連携を通じて稼げる観光地域づくりを進めている。プロモーションの中心に秋田犬を据えた取り組みを進めた結果、外国人旅行者が増加傾向にあることから、当地域の目的地としてのポテンシャルは高く、今後も外国人旅行者の増加による経済効果が十分に見込めることから、従来のターゲットである台湾へのアプローチは続けつつ、「秋田犬」という強力なキラーコンテンツを活用して世界中の動物好きへのアプローチを積極的に進め、来訪者、とりわけインバウンドの増加につなげる。また、体験・ストーリーを重視する欧米からの富裕層の個人旅行者、アジアの先進地域からの富裕層を明確にターゲットに加えるとともに縄文犬としての秋田犬、マタギという狩猟文化やそれにまつわる食文化を前面にだした芸能・体験・食を提供し当地への来訪を目指す。	

<b>事業費</b>	<b>総事業費(入力シートD列)</b> 42,468,518円	<b>交付金実績額(入力シートE列)</b> 19,931,888円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	旅行消費額(百万円)
②	訪日外国人宿泊者数(千人)
③	延べ宿泊者数(千人)
④	観光振興事業が地域に与える経済的効果(百万円)

KPI	目標値									
	実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		36,625		40,236		48,558		54,548		60,174
		24,592		27,318		30,707		19,323		—
②		11		15		21		26		31
		9		10		11		2		—
③		352		385		393		399		405
		375		379		392		273		—
④		0		0		480		879		1,332
		0		0		4,125		1,931		—

**事業の概要(一覧表BS列)**

来訪者拡大に向けてRESASやSNSワードクラウドを活用して著名な観光地の誘客ターゲットや外国人旅行者の地方への周遊動向などについて、他地域との競合分析やマーケティング、情報発信を進めながら、当エリアを北海道・東北周遊ルートのひとつにしっかりと位置付けるために、体験やストーリーを重視した新商品・サービスの投入、受け入れ体制整備により、来訪者の満足度向上と滞在時間を延ばす取り組みを進める。古民家や農家民宿、歴史的建造物などでの旅行者受け入れ体制の整備を行う。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	12	有効性評価	13	効率性評価	13
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	4

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
<b>38</b>	現行のまま継続	秋田犬・マタギといった地域特有のコンテンツを活かし、海外を中心にプロモーションを行ったことにより、海外での知名度の向上が図られつつある中、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、外国人観光客の誘客を控えることとなった。代わりにコロナ禍で感染症対策をしながらの飲食業への支援や、ウィズコロナにおける国内需要取り込みのため、農泊等の滞在型コンテンツの磨き上げや事業者支援を図るほか、リモートイベントを活用した海外プロモーションを行った。今後はアフターコロナを見据えて引き続き国内および海外へのプロモーションを展開していく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	12	有効性評価	13	効率性評価	13
市が関与すべき事業か	4	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	4

【参考:評価基準】

5	4	3	2	1
全 体的 に 最 大 の 効 果 が あ る	全 体的 に あ る 程 度 の 効 果 が あ る	あ ま り 効 果 が あ ら な い	あ ま り 効 果 が あ ら な い か ら あ る 程 度 の 効 果 が あ ら な い	あ ま り 効 果 が あ ら な い

総合評価	検証会議による評価	【検証会議 評価基準】
<b>38</b> /45	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A かなりの効果がある</li> <li>B 相当程度の効果がある</li> <li>C あまり効果が見られない</li> <li>D 効果が乏しく改善の必要ある</li> </ul>

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>北秋田市クウインズ森吉宿泊施設整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略 基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	駅舎内にある日帰り温泉入浴施設で、地域の活性化を図ることを目的とした施設であり、現在の休憩室5室を全て宿泊個室へ整備改修することで、これまで課題となっていた通過型観光から滞在型観光へと転換を図ることにより、施設指定管理者の収益向上へと繋がり、周辺エリアへの観光誘客につなげる。また、施設の新規雇用促進を図る。	

<b>事業費</b>	<b>総事業費(入力シートD列)</b> 14,594,040円	<b>交付金実績額(入力シートE列)</b> 7,297,020円
------------	-------------------------------------	--------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	施設宿泊者数(人)
②	本施設利用客数(温泉利用客数、宿泊者数)
③	本施設宿泊外国人客数
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H28	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2
①		0		200		1,500		2,000		3,000
		0		146		1,036		1,421		781
②		50,000		52,000		57,000		60,000		62,000
		44,206		41,057		42,389		45,468		26,695
③		0		30		200		350		500
		0		2		50		53		0
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
施設指定管理者の収益向上、周辺地域への観光誘客増およびそれに伴う地域経済への波及効果拡大を目的としており、本施設を宿泊施設へと改修整備することにより、これまでの通過型観光から滞在型観光への転換が可能となる。そのため、現在の日帰り入浴客用の休憩室個室を宿泊部屋(5室)へ改修し、また外国人観光客にも対応するため洋式トイレ化へと整備する。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	11	有効性評価	13	効率性評価	14
市が関与すべき事業か	3	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適当か	5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
<b>38</b>	現行のまま継続	施設整備後、順調に宿泊者数を増やしてきた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による休館や人流の減少等の影響が大きく、宿泊客数、施設利用者数は減少し、特に外国人宿泊客数は皆無の状況となった。今後はアフターコロナを見据えながら、森吉山の自然や秋田内陸縦貫鉄道を活かした誘客促進を図っていく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	11	有効性評価	13	効率性評価	14
市が関与すべき事業か	3	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適当か	5

【参考:評価基準】

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 100%;">総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>38</b> /45</td> </tr> </table>	総合評価	<b>38</b> /45	➔	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 100%;">検証会議による評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>A</b></td> </tr> </table>	検証会議による評価	<b>A</b>	<p>【検証会議 評価基準】</p> <p>A かなりの効果がある          B 相当程度の効果がある          C あまり効果が見られない          D 効果が乏しく改善の必要ある</p>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>的り全 、く 最大そ 適あの で効と あ果お る</td> <td>切り で、ね あ効そ る果と 的とお 適</td> <td>概 、ね そら のと お え</td> <td>な ど ち ら と あ 改 善 す る</td> <td>余 地 が あ る す る</td> <td>検 討 が あ る 改 善 す る の は な い</td> </tr> </table>	5	4	3	2	1	的り全 、く 最大そ 適あの で効と あ果お る	切り で、ね あ効そ る果と 的とお 適	概 、ね そら のと お え	な ど ち ら と あ 改 善 す る	余 地 が あ る す る	検 討 が あ る 改 善 す る の は な い
総合評価																			
<b>38</b> /45																			
検証会議による評価																			
<b>A</b>																			
5	4	3	2	1															
的り全 、く 最大そ 適あの で効と あ果お る	切り で、ね あ効そ る果と 的とお 適	概 、ね そら のと お え	な ど ち ら と あ 改 善 す る	余 地 が あ る す る	検 討 が あ る 改 善 す る の は な い														

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	伝統的狩猟文化を有する「マタギの里」におけるマタギ体験・どぶろく提供等、特徴ある観光プランの提供や拠点整備を促進することにより、通過型観光から滞在型観光へと転換を図り、インバウンドを含めた観光誘客の増加を推進する。拠点整備が図られた場合、観光誘客の増加も推進され、それに伴い観光拠点施設における新規雇用の促進にも繋がる。これらのことによる地域経済の安定と向上、地域に活力を与えることを目的とする。	

<b>事業費</b>	総事業費(入力シートD列) 50,058,000円	交付金実績額(入力シートE列) 23,914,715円
------------	------------------------------	--------------------------------

<b>NO</b>	<b>KPI(重要業績評価指標)</b>
①	本施設濁酒販売量(ℓ)
②	土産物・酒販店での販売(ℓ)
③	施設利用者数(日帰り入浴客数、マタギ資料館利用者数、宿泊者数(人))
④	—

<b>KPI</b>	<b>目標値</b>									
	<b>実績値</b>									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		400		600		800		1,000		1,200
		564		1,077		1,016		727		—
②		80		180		280		380		480
		102		415		448		352		—
③		32,000		32,475		32,950		33,425		33,900
		27,326		26,231		26,474		15,109		—
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

<b>事業の概要(一覧表BS列)</b>
<p>本地域の特徴である「マタギ集落」文化を活かした特徴ある滞在型観光への転換を図り観光消費額の向上、周辺観光エリアへの観光誘客の促進を目指すため、醸造施設を新たに整備し、濁酒生産の強化と首都圏アンテナショップ等へ濁酒販売を行うとともに、来訪者への濁酒生産の見学体験・試飲の場ならびに醸造技術の研究・向上、商品開発の場を整備し、特徴ある滞在型観光への転換を促進する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

<b>妥当性評価</b>	<b>12</b>	<b>有効性評価</b>	<b>14</b>	<b>効率性評価</b>	<b>12</b>
市が関与すべき事業か	3	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	4

<b>総合評価</b>	<b>38</b>	<b>今後の方向性</b>	現行のまま継続	<b>事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)</b>
				施設整備後、順調にどぶろくの販売量を増やしてきた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、施設利用者数及びどぶろく販売総数は落ち込んでいる。引き続き「マタギ文化」を活かしたワーケーションや誘客促進を図りながら、地域特有の商品として濁酒を提供していく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

<b>妥当性評価</b>	<b>12</b>	<b>有効性評価</b>	<b>14</b>	<b>効率性評価</b>	<b>12</b>
市が関与すべき事業か	3	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	4

【参考:評価基準】

5	4	3	2	1
的り全 、く 最大 適 で 果 あ る	切り概 で、ね あ効そ る果と 的とお 適	など い ち ら が あ 改 善 す る	余検 地討 が あ 改 善 す る	適い全 切、く で、非 効、そ あ効う 率、は 不 な

<b>総合評価</b>	<b>検証会議による評価</b>
<b>38</b> /45	<b>A</b>

- 【検証会議 評価基準】
- A かなりの効果がある
  - B 相当程度の効果がある
  - C あまり効果が見られない
  - D 効果が乏しく改善の必要ある

## 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>移住定住ネットワークセンター整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略基本目標</b>	基本目標2 移住・定住対策 2-① 移住定住の促進	総合政策課移住・定住推進室
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	移住定住を促進するための拠点となるネットワークセンターを整備することで、移住相談の窓口や情報発信及び移住体験事業の調整等、移住定住に係る支援体制を強化する。また、ネットワークセンターの2階に居室を整備し、シェアハウス型の移住体験住宅とするとともに、同敷地内にバリアフリー対応型移住体験住宅を整備することで、様々なニーズに対応した移住体験を可能とする。同一の敷地内に移住定住ネットワークセンターと移住体験住宅を整備し、常駐する地域おこし協力隊員や既移住者及び地域住民等によるサポートを行うことで、当市への円滑な移住を支援し、移住定住者の増加につなげる。	

<b>事業費</b>	総事業費(入力シートD列) 35,443,047円	交付金実績額(入力シートE列) 17,692,503円
------------	------------------------------	--------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	移住体験住宅利用者数(人)
②	車いす利用者による移住体験住宅利用者数(人)
③	行政が窓口となった年間移住者数(人)
④	—

KPI	目標値									
	実績値									
	年度	H28	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2
①		18		36		36		36		36
		6		25		17		22		4
②		6		12		12		12		12
		0		0		0		0		0
③		10		10		10		10		10
		13		43		41		64		61
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
同一敷地内の2棟(4室、内1棟1室は移住体験住宅として改築済み)の内の1棟(1室)を、車いすの方でも気軽に当市への移住体験を行うことができるようなバリアフリー対応型の移住体験住宅とし、段差解消機用の利用可能スペース(機器は利用時にレンタル)の確保、玄関等の各扉への引き戸の設置、1階のフローリング化、トイレ浴室の拡張などを行う。また、もう1棟(2室)の間仕切りを変更し、シェアハウス付きの移住定住ネットワークセンターとして整備する。ネットワークセンターには移住定住専門の地域おこし協力隊員を常駐(宿泊場所は別に確保)させ、移住に係るワンストップ窓口として、相談対応や情報発信及び移住体験事業の調整を行う。さらに、2階に整備する移住体験事業利用者として協力隊員・既移住者・地域住民等が気軽に交流できる共有スペースを設けることで、より円滑な移住を支援し、移住定住者の増につなげる。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
<b>43</b>	現行のまま継続	移住定住ネットワークセンターの整備により、移住体験事業等の様々なニーズに対応するとともに、地域おこし協力隊による相談活動、情報発信の拠点にもなっており、移住者の増加に寄与している。R2は空調設備工事により快適さを向上するとともに、コロナ禍で移住体験を自粛している状況において、地域おこし協力隊・既移住者・地域住民等の交流の場及びオンラインイベントの会場として活用(71人)している。今後は、新しい生活様式である「ワーケーション」体験の受入れも行いながら、本市の魅力を感じてもらい創出により将来的な移住定住者の増加につなげていく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	5

【参考:評価基準】

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">総合評価</th> <th style="width: 50%;">検証会議による評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>43</b> /45</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>A</b></td> </tr> </table>	総合評価	検証会議による評価	<b>43</b> /45	<b>A</b>	<p>【検証会議 評価基準】</p> <p>A かなりの効果がある              B 相当程度の効果がある              C あまり効果が見られない              D 効果が乏しく改善の必要ある</p>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>的り全</td> <td>切</td> <td>概</td> <td>な</td> <td>余</td> <td>検</td> <td>通</td> </tr> <tr> <td>、く</td> <td>り</td> <td>ね</td> <td>ど</td> <td>地</td> <td>討</td> <td>い</td> </tr> <tr> <td>最大そ</td> <td>で</td> <td>い</td> <td>ち</td> <td>地</td> <td>が</td> <td>全</td> </tr> <tr> <td>適意の</td> <td>あ</td> <td>そ</td> <td>ら</td> <td>あ</td> <td>改</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>で効と</td> <td>効</td> <td>ら</td> <td>が</td> <td>改</td> <td>善</td> <td>、</td> </tr> <tr> <td>あ果お</td> <td>の</td> <td>と</td> <td>あ</td> <td>あ</td> <td>あ</td> <td>効</td> </tr> <tr> <td>る</td> <td>効</td> <td>も</td> <td>改</td> <td>改</td> <td>効</td> <td>う</td> </tr> <tr> <td></td> <td>的</td> <td>と</td> <td>善</td> <td>善</td> <td>率</td> <td>は</td> </tr> <tr> <td></td> <td>お</td> <td>も</td> <td>す</td> <td>す</td> <td>は</td> <td>な</td> </tr> <tr> <td></td> <td>適</td> <td>え</td> <td>る</td> <td>る</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		5	4	3	2	1		的り全	切	概	な	余	検	通	、く	り	ね	ど	地	討	い	最大そ	で	い	ち	地	が	全	適意の	あ	そ	ら	あ	改	切	で効と	効	ら	が	改	善	、	あ果お	の	と	あ	あ	あ	効	る	効	も	改	改	効	う		的	と	善	善	率	は		お	も	す	す	は	な		適	え	る	る		
総合評価	検証会議による評価																																																																																		
<b>43</b> /45	<b>A</b>																																																																																		
	5	4	3	2	1																																																																														
的り全	切	概	な	余	検	通																																																																													
、く	り	ね	ど	地	討	い																																																																													
最大そ	で	い	ち	地	が	全																																																																													
適意の	あ	そ	ら	あ	改	切																																																																													
で効と	効	ら	が	改	善	、																																																																													
あ果お	の	と	あ	あ	あ	効																																																																													
る	効	も	改	改	効	う																																																																													
	的	と	善	善	率	は																																																																													
	お	も	す	す	は	な																																																																													
	適	え	る	る																																																																															

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略 基本目標</b>	基本目標4 新たな地域社会の形成 4-⑤ 公共交通の維持・確保	総務部内陸線再生支援室
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	少子高齢化に伴う人口減少により、地域の活力が減少することが懸念されている。一方、秋田内陸線を利用する外国人団体客は年々増加傾向にあり、内陸線は秋田県を代表するインバウンド観光コンテンツの一つになっている。このため、阿仁合駅を観光拠点とすることで、北秋田市への外国人観光客の誘客を促進し、森吉山を中心とした観光産業の振興を図り、新たな雇用の創出や、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を創出する。	

<b>事業費</b>	総事業費(入力シートD列) 127,057,510円	交付金実績額(入力シートE列) 58,207,000円
------------	-------------------------------	--------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	秋田内陸線の阿仁合駅定期外乗降者数(人)
②	秋田内陸線の訪日外国人団体数(人)
③	秋田内陸線の阿仁合駅こぐま亭年間売上額(千円)
④	—

KPI	目標値									
	実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		37,900		39,900		41,900		43,900		45,900
		39,582		37,353		39,012		17,114		—
②		10,300		12,000		13,700		15,400		17,200
		25,232		28,592		33,344		0		—
③		8,000		10,000		12,000		14,000		16,000
		8,150		17,654		13,403		8,474		—
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

**事業の概要(一覧表BS列)**

阿仁合駅の改築及びレイアウト変更を行い、待合室(休憩所)とレストスペースを拡大する。また、秋田内陸線と森吉山周辺、さらには阿仁合の街歩きに関する観光情報を提供できるような観光案内所を整備する。また、外国人観光客のさらなる誘客につなげるために、和式トイレの洋式・バリアフリー化を行うことで、観光客の利便性満足度向上を目指す。駅舎内にある鉱山文化の代表的な食を現代風に発信しているレストラン「こぐま亭」のスペース拡大によって、外国人をはじめとする観光客の利便性向上や街歩き用の携行メニューを開発し、阿仁合地域のさらなる魅力向上を目指す。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
<b>43</b>	現行のまま継続	平成30年4月にリニューアルオープン後も、訪日外国人団体数及びカフェを新設した「こぐま亭」の売上額は、右肩上がりに延びていた。R2年度は新型コロナウイルスの影響により、激減している中行った各種キャンペーン等が一定の効果を得られた。今後、更なる誘客の促進のため、北秋田市の観光の核である森吉山をPRするため、改修した阿仁合駅舎2階を観光拠点として強化を図っていく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	5

総合評価
<b>43</b> /45

検証会議による 評価
<b>A</b>

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	通
、く	り	ね	ど	地	討	全
、く	で	い	ち	が	あ	切
最大	あ	そ	ら	ら	ら	、非
適	効	ら	あ	あ	あ	そ
の	と	果	と	改	効	う
で	効	的	も	善	率	る
あ	お	お	い	す	は	は
果	お	い	え	る	な	な
る	適	え	る			

## 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>森吉山ウェルカムステーション整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略 基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	総務部内陸線再生支援室
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	現在の県立公園から国定公園への昇格に関わる活動が地元北秋田市において具体化してきている現状も踏まえ、森吉山を目的として来訪したお客様はもちろんのこと、それ以外の目的で訪ねてきたお客様、さらには北秋田市をはじめとする沿線地域のすべての住民に、森吉山の魅力や価値をワンストップで感じ取ってもらえる「森吉山エリアの四季」をテーマとした「情報発信型のスペース」を秋田内陸線阿仁合駅舎内2階に整備し、森吉山一帯の観光関連情報や来訪者が必要とする情報を発信することで、沿線の観光価値を高めるとともに地域の魅力向上を目指し、観光客増と地域の観光関連事業者の収入増を図ることを目的とする。	

<b>事業費</b>	総事業費(入力シートD列) 90,322,180円	交付金実績額(入力シートE列) 42,590,000円
------------	------------------------------	--------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	観光コンテンツの発信拡大に伴う株式会社WEBサイトアクセス数(PV)
②	整備施設(阿仁合駅舎2階)訪問者数(人/日)
③	整備施設(阿仁合駅舎2階)チャレンジショップ活用事業者数(人/団体)
④	—

KPI	目標値									
	実績値									
	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3	年度	R4
①		756,754	779,554	803,038	827,227	852,141				
		770,810	866,782	823,052	—	—				
②		0	62	67	73	79				
		0	68	51	—	—				
③		0	12	14	14	14				
		0	6	6	—	—				
④		—	—	—	—	—				
		—	—	—	—	—				

事業の概要(一覧表BS列)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森吉山の観光関連事業者が提供する様々なコンテンツを情報提供する。</li> <li>○ 内容は各個別事業者の取り扱いコンテンツの体験(購入)意欲の喚起に結びつくものとし、整備施設来訪者への提供のみならず会社の既存WEBサイト上での誘客コンテンツとしても活用する(多言語対応:英・台・韓・タイ)。</li> <li>○ 森吉山関連の中小零細事業者や地域活動団体等が訪問客に対し体験メニュー案内や特産品販売などを行う「チャレンジショップ」機能を設ける。</li> <li>○ 整備施設では、高齢者等インターネット環境にない方に対しても、ジオラマやパネルなどのアナログ的な方法で情報を提供する。</li> </ul>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適当か	5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
<b>43</b>	現行のまま継続	阿仁合駅舎2階を改修し、エレベーター・冷暖房設備・LED照明の新設、階段の移設、床の防音対策と強度の増強、内壁の断熱機能の付加をするとともに、デジタルサイネージやジオラマ等を整備することで、地域の魅力発信スペースを新設。これにより沿線の観光価値を高め、活性化を図る。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	14	有効性評価	14	効率性評価	15
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適当か	5

【参考:評価基準】

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">総合評価</th> <th style="width: 50%;">検証会議による評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>43</b> /45</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>A</b></td> </tr> </table>	総合評価	検証会議による評価	<b>43</b> /45	<b>A</b>	<p>【検証会議 評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A かなりの効果がある</li> <li>B 相当程度の効果がある</li> <li>C あまり効果が見られない</li> <li>D 効果が乏しく改善の必要ある</li> </ul>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>的り全</td> <td>切</td> <td>概</td> <td>な</td> <td>余</td> <td>検</td> <td>通</td> </tr> <tr> <td>、く</td> <td>り</td> <td>ね</td> <td>ど</td> <td>地</td> <td>討</td> <td>全</td> </tr> <tr> <td>最大そ</td> <td>で</td> <td>い</td> <td>ち</td> <td>が</td> <td>が</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>適の</td> <td>あ</td> <td>そ</td> <td>ら</td> <td>あ</td> <td>改</td> <td>で</td> </tr> <tr> <td>で効と</td> <td>る</td> <td>果</td> <td>あ</td> <td>改</td> <td>善</td> <td>非</td> </tr> <tr> <td>あ果お</td> <td>的</td> <td>の</td> <td>も</td> <td>る</td> <td>す</td> <td>効</td> </tr> <tr> <td>る</td> <td>お</td> <td>と</td> <td>あ</td> <td>す</td> <td>る</td> <td>率</td> </tr> <tr> <td></td> <td>い</td> <td>い</td> <td>る</td> <td>る</td> <td>は</td> <td>は</td> </tr> <tr> <td></td> <td>適</td> <td>え</td> <td>る</td> <td>る</td> <td>不</td> <td>な</td> </tr> </table>		5	4	3	2	1		的り全	切	概	な	余	検	通	、く	り	ね	ど	地	討	全	最大そ	で	い	ち	が	が	切	適の	あ	そ	ら	あ	改	で	で効と	る	果	あ	改	善	非	あ果お	的	の	も	る	す	効	る	お	と	あ	す	る	率		い	い	る	る	は	は		適	え	る	る	不	な
総合評価	検証会議による評価																																																																											
<b>43</b> /45	<b>A</b>																																																																											
	5	4	3	2	1																																																																							
的り全	切	概	な	余	検	通																																																																						
、く	り	ね	ど	地	討	全																																																																						
最大そ	で	い	ち	が	が	切																																																																						
適の	あ	そ	ら	あ	改	で																																																																						
で効と	る	果	あ	改	善	非																																																																						
あ果お	的	の	も	る	す	効																																																																						
る	お	と	あ	す	る	率																																																																						
	い	い	る	る	は	は																																																																						
	適	え	る	る	不	な																																																																						